

市では、隣接した2以上の単一自治会が連携して団体を設立の上、市の認証を受けた団体（「地域まちづくり事業実施団体」といいます。）が地域まちづくり事業に取り組む場合に助成金の交付や技術的な支援を実施しています。

地域まちづくり事業とは

地域まちづくり事業実施団体が主体となり地域活性や地域課題の解決を図ることを目的とした事業で、かつ、市の主要課題に該当する事業

【対象外の事業】

祭りや運動会などの親睦事業や趣味普及事業、専ら直接的に利潤追求を目的とする経済活動、宗教活動、政治活動、特定の政党を推薦支持し又は反対することを目的とする活動等、対象外の事業があります。

地域まちづくり事業実施団体とは

隣接した2以上の単一自治会や市民団体、市内事業者で組織するもので、設置の目的が活動地域に住む者の利益や活性に資するものとして市の認証を受けた団体（認証要件の詳細については、お問い合わせください。）

支援内容

毎年度・事業毎に事業計画や予算要求、支援申請を市に提出いただきます。市の審査の結果、地域まちづくり事業として採択された場合、次の①②について支援をします。

- ①助成金の交付：交付対象経費の10/10
（上限額：構成する自治会の規模による）
- ②技術的な支援：市職員等の派遣、情報提供等

支援対象期間

4月1日～2月末日

イベント情報

国際女性デー☆フェスタ/ミウズ上映会 『メイド・イン・バングラデシュ』

3月8日は国連が定めた「国際女性デー」です。ミウズでは、女性のエンパワーメントの促進を願い、上映会を開催します。

日 時：令和7年3月8日（土）
13:00～15:30（開場12:30）

場 所：志津コミュニティセンター（佐倉市井野794-1）

申込み：窓口、電話またはミウズホームページ

申込フォームから

事前申込30人（先着順）

託児先着2人（締切2月25日）

問合せ：佐倉市男女平等参画推進センター

ミウズ ☎043-460-2580



ミウズ
ホームページ

市民公益活動ポスター展

社会・地域の課題解決やまちの活性化に取り組んでいる、公益的な市民団体の活動を紹介します。

日 時：令和7年1月25日（土）～
2月27日（木）

場 所：志津公民館2階

（佐倉市上志津1672-7

志津市民プラザ内）

問合せ：佐倉市市民公益活動

サポートセンター

☎043-484-6686

メール：saposen@city.sakura.lg.jp



市民公益活動
サポートセンター
公式YouTube

まちづくりしよ！

地域まちづくり事業実施団体インタビュー

根郷小学校区まちづくり協議会

心豊かで安心して暮らすことのできる
活力に満ちたまちづくり



上志津まちづくり協議会

自治運営の中心である住民の親睦、
交流を深め、地域全体の絆がもてる
事業を協議し、公共の利益のための
活動を民主的に行い、心豊かで
暮らせる活力に満ちたまちづくり



井野小学校区まちづくり協議会

井野小学校区の地域住民が対等の立場で連携・協力して、
主体的に地域の活性化に資する事業を行うことにより、
安心して心豊かに楽しく暮らすことの出来るまちづくり



根郷小学校区まちづくり協議会

「心豊かで安心して暮らすことのできる活力に満ちたまちづくり」を目的として平成23年2月に設立された根郷小学校区まちづくり協議会は、環境文化、防災、防犯、広報等の事業を推進しています。



中でも、地区内の休耕畑を借り上げて農作物を育てる「野菜収穫体験」は、子どもたちに自然との関わりや食育の大切さを伝えるとともに、人と人が触れ合う世代間交流、古村と団地を繋ぐ地域交流を図ることができる取組みとして、特色ある事業です。畑の準備や草取り等は、まち協役員と環境文化部会が中心となっており、苗の植付等は、南部児童センターの幼児・保護者が行っています。そして収穫時は、根郷小学校児童、南部児童センターの幼児とその家族、地域住民の皆様の参加があり、毎年、総勢200名以上になります。農作物の生育は、自然の影響が大きく、天候により作物の出来が左右されるので、収穫量が確保できなかったり、質の良いものにすることも難しく、昨今は動物による被害も増え、その対策も大変ですが、頑張っ育てた野菜等がよくできて、参加者が笑顔で楽しかったと言ってくれたり、子どもたちが泥だらけになって歓声を



上げて芋や枝豆、落花生を収穫している姿を見ると、とても喜ばしい気持ちになります。

また、防災・防犯に関する取組みを、根郷小学校をはじめ様々な方たちと連携して、地域ぐるみで実施して

います。根郷小の授業の一環で実施する年2回の防犯講習会（低学年、高学年）や、根郷小児童から募集した標語を使った防犯のぼり旗の設置、地域住民を対象とした防災や防犯に関する講演会等を行っています。「防災セミナー」は、自治会や地区社協、根郷公民館等からも依頼をいただいて、各所へ出張して実施しており、地域の皆さんの防災に対する関心の高さが感じられます。

メンバーの高齢化が進み、事業も毎年同じことの繰り返しになりつつある中、どうしたら若い人たちが関心を持ち参加してもらえるかを考えていかなければと思っています。地域のために活動していきたいという意欲のある方を随時募集しています。

井野小学校区まちづくり協議会

「井野小学校区の地域住民が対等の立場で連携・協力して、主体的に地域の活性化に資する事業を行うことにより、安心して心豊かに楽しく暮らしていけるまちづくりに寄与すること」を目的に平成26年7月に発足した井野小学校区まちづくり協議会は、個々の自治会・町内会単独では対応がなかなか難しい地域共生・共助活動事業（避難所開設運営訓練や青色回転灯防犯パトロール・認知症高齢者への声掛け発見訓練・地域の伝承や文化の発掘と発信事業など）に積極的に取り組んで来ています。

高齢者世帯や独居老人世帯が増える一方、若い子育て世帯も多く生活しているこの地域で、世代を超えた交流を行うことで、共生・共助意識が醸成されことを目指して活動しています。若い世代、子育て世代の皆様



にも参加していただけるよう、例えば、夏に開催して児童に好評だった「星空観望会」を、年初早々にも開催したり、2月に開催した7回目の「避難所体験訓練」では、「家族」をコンセプトに小さな子どもたち用に保育士を配置したキッズコーナーを設けるなどの工夫もし

ています。高齢者の多い地域活動に、若い世代が参入して多世代交流を進めることで、互いに刺激し合いながら、それが地域の活力・活性化に繋がると考えています。



事業運営にあたっては、「運営側が自ら愉しんで取り組むこと」を常に心掛けつつ、事業ごとに行うアンケートを通じて、参加者が必要としているもの・望んでいるものを取り入れながら次の企画立案に活かしています。共生・共助を目指して日頃から地道な活動を積み重ねることで、他の人に「してもらう」だけでなく、地域住民がお互いに「し合う」という関係性が生まれることを期待して様々な事業に挑戦しており、それがノウハウ蓄積にもなります。

こうして実施した事業に、参加者が真剣にかつ愉しみながら取り組んでいる姿を見ると、地域貢献の意義を感じます。また、他地区のまち協から取り組みに関するご相談をいただいたり、当協議会に未加盟自治会等から「事業に参加させて欲しい」と言われたりすることもあり、積極的に受け入れております。

現・役員や委員は高齢者になりがちですが、運営側においても多世代交流が必須と考えており、現役世代や若い学生たちにも参加して欲しく、井野小の校長・教頭、PTA等の皆様とも連携・情報共有を図っています。

今後は若い層の知恵・発想力や企画力・行動力で積極的にまち協事業に係わっていただき、多世代交流を通して「地域力の強化」に繋げていきたい!と考えています。

上志津まちづくり協議会

上志津まちづくり協議会は、自治運営の中心である住民の親睦、交流を深め、地域全体の絆がもてる事業を協議し、公共の利益のための活動を民主的に行い、心豊かで暮らせる活力に満ちた、まちづくりを行う事を目的として、平成25年に発足しました。

年間で実施している5事業のうち、特に力を入れて

いるのは「畑体験事業」です。上志津小学校の土地の一面を借り、畑を耕して、春はじゃがいも、冬は大根を栽培し、育て、収穫を行っています。食と密接に関連している農業の重要性を知る機会を設けるとともに、土に直に触れ身体を動かし、子ども同士、大人と子どもが普段とは異なる価値観のもと一緒に作業し、その作業を通じて、人と人との交流、自然や環境を大切にする気持ち、食の大切さを学び、子どもたちの豊かな感



性を育みます。また、近所のおじいちゃん・おばあちゃんが、苗植えや収穫のやり方を小学生や未就学児に教えることを通じて、参加者の世代を超えた会話や笑顔が生まれます。この3世代（親・子・孫）の交流が大変重要であり、強い地域を作る原点だと考えています。

毎年、まち協理事やPTAのメンバーが変更になる中、生育状況や天候によりイベントの事前案内ができないことなどにより、参加者がなかなか増えないことが課題ですが、最近では、高齢世代も比較的に利用しているSNSを使って周知を行っています。

協議会を支える役員は、各自治会をとりまとめ、市役所や関係団体等と連携しながら各事業を推進しています。役員の多くは高齢者ですが、やる気のある若いメンバーを入れつつ、世代交代を図っているところです。今後も3世代交流ができる事業を増やし、強い地域づくりを進めていきたいと考えています。